

III 主要指標の見通し

1 人口

(1) 総人口

新市の人口は、自然増加人口により増加傾向が続き、平成 17 年の総人口は、約 18 万 1,000 人になるが、その後減少に転ずるものと見込まれます。

(2) 年齢別人口

年齢別人口については、総人口の微増傾向が見込まれる中で、年少人口は減少が続き、構成比も低下するものと想定されます。

生産年齢人口についても同様に減少が続き、構成比も低下するものと想定されます。

老年人口については、近年の高齢化の進展に伴って、増加することが見込まれ、平成 22 年の構成比では、21.7%になるものと想定されます。

(3) 就業人口

就業人口については、総人口の微増傾向と同様に、微増傾向が続くものと見込まれます。

このうち第 1 次産業就業者は、一層の都市化の進展に伴い年々減少し、平成 22 年には、500 人強と想定されます。

第 2 次産業就業者も、特に製造業の進出計画もないことから、減少することが見込まれ、平成 22 年には、就業者に占める構成比で 20%程度になるものと想定されます。

第 3 次産業就業者は、経済社会のソフト化の進展により増加し、平成 22 年には、約 7 万人で、就業者の 78.8%に及ぶものと想定されます。

2 世帯

世帯については、人口の微増傾向や核家族化の一層の進行にあわせて、平成 22 年には 8 万 7,000 世帯を上回ることが想定されます。

また、1 世帯当たりの人口は、平成 22 年には 2.07 人へと減少するものと想定されます。

人口及び世帯の見通し

(単位：人、%)

区 分		平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
総 人 口		170,290	175,073	179,500	181,000	180,600
年 齢 別 人 口	年 少 人 口 0 ~ 1 4 歳	26,670 15.7	24,350 13.9	23,900 13.3	22,600 12.5	21,500 11.9
	生 産 年 齢 人 口 1 5 ~ 6 4 歳	125,709 73.8	128,384 73.3	127,700 71.2	123,600 68.3	119,900 66.4
	老 年 人 口 6 5 歳 以 上	16,251 9.5	22,178 12.7	27,900 15.5	34,800 19.2	39,200 21.7
就 業 人 口		85,153	87,399	89,700	90,500	90,300
	第 1 次 産 業	898 1.1	777 0.9	717 0.8	683 0.7	541 0.6
	第 2 次 産 業	23,622 27.7	21,951 25.1	21,169 23.6	20,000 22.1	18,600 20.6
	第 3 次 産 業	60,633 71.2	64,671 74.0	67,814 75.6	69,867 77.2	71,159 78.8
世 帯 数		64,835	70,347	76,382	81,900	87,246
1 世帯当り人員		2.63	2.49	2.35	2.21	2.07

(注) 本推計は、「東京都区市町村別人口の予測」をベースに推計した。